

観ノ会第九回公演

能

友枝雄人

頼

歌人源三位・武将頼政

埋木の花咲くこともなかりしに

政



令和8年

4/25
(土)

午後2時開演

(正午開場)

セルリアンタワー

能楽堂

「頼政 あらすじ」

作者／世阿弥
季節／五月 所／山城国宇治

所は京都の南の郊外、宇治の里。宇治川がごうごうと音を立てて流れ、そのほとりには莊嚴な平等院が建っています。そこに旅の僧が通りかかると、一人の老人が現れます。僧がこの里の案内を請うと、老人は名所を見せてまわり、二人は宇治の景勝をしばし愛でるのです。最後に老人は僧を平等院に案内し、平家追討の旗をあげた高倉宮の武将・源頼政が戦いに敗れ、この場で自害して果てた、今日はその日に当たるのだと語ると頼政の回向を頼み、姿を消してしまいます。

僧が経をととなえ、眠りに落ちていくと、頼政の幽霊が出家姿に鎧兜を着た姿で夢に現れ、改めて名を名乗ると、宇治川の合戦の緊迫した様子を再現して見せます。橋桁を外され、流れの急な宇治川を挟んで相対峙する源平両軍。攻めあぐねていた平家軍から、田原又太郎忠綱と名乗る武者が三百余騎を引き連れ、激流の逆巻くなか、的確な指示を出して遂に川を渡り切り、源氏軍に攻め入りま

頼

歌人源三位・武将頼政
埋木の花咲くこともむかりしに

令和8年
4/25 (土)

午後2時開演
(正午開場)
セルリアンタワー
能楽堂

政

舞囃子

鶴 友枝雄人

能頼政

〔配役〕

前シテ／老人

後シテ／頼政の霊

友枝雄人

ワキ／旅僧

宝生欣哉

アイ／宇治の里人

高澤祐介

〔囃子〕

笛／栗林祐輔

小鼓／成田達志

大鼓／大倉慶乃助

〔地謡〕

香川靖嗣 大村定

狩野了一 金子敬一郎

内田成信 佐藤陽

友枝真也 佐藤寛泰

〔後見〕

中村邦生 栗谷浩之

16時半頃終了

観ノ座

〔品格と雅と武勇と〕

名門清和源氏の出で、歌人としても名を知られ、武人としては鶴退治や皇子を推して諸国の源氏に旗揚げを促すなど、品格と雅、武勇を併せ持ちながら壮絶な最期を遂げた老將の生き様に迫ります。

〔出演〕

村上 湛(演劇評論家)

青柳恵介(評論家、観ノ会発起人)

「友枝雄人」

シテ方喜多流

昭和42年生まれ。故友枝喜久夫の孫、友枝昭世の養子。故喜多実、友枝昭世に師事。重要無形文化財総合指定保持者。3歳で初舞台「鞍馬天狗」花見。10歳で初シテ「経政」。平成6年「狸々乱」、14年「道成寺」、16年「石橋 赤獅子」、22年「翁」、23年「望月」、令和3年「石橋 一人獅子」を披く。五種会主宰。2009年小学館白洲賞受賞。慶應義塾大学経済学部卒業。公益財団法人能楽協会会員。

「面・装束の展示」

正午～午後1時

「セルリアンタワー数寄屋」の広間に当日着用する面と装束(複数組)を展示いたします。能楽師の解説で間近でご鑑賞いただけます。

「数寄屋席で茶話会」

終演後40分程度

数寄屋席をお求めの方を対象に、終演後、能楽師・友枝雄人師他による茶話会(質疑応答・お菓子付)を開催します。

● 本作の詞章と現代語訳、鑑賞のポイントは右のQRコードからお読み頂けます。



● 「頼政」告知動画を2025年11月2日(日)より配信いたします。



前売開始

2026年1月25日(日) 10:00～

● 料金(税込)

数寄屋席	15,000円	A席	8,000円
SS席	12,000円	B席	6,000円
S席	10,000円	数寄屋席	4,000円

※数寄屋席では終演後に茶話会があります。

チケット申し込み

● 友枝雄人事務局

03-5950-4543

● 「友枝家の能」HP

<https://tomoeda-kai.com>



会場：

セルリアンタワー能楽堂

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号 B2F

TEL: 03-3477-6412 FAX: 03-3477-0190

表写真撮影：鍋島徳恭 主催：オフィスミヤガワ

